

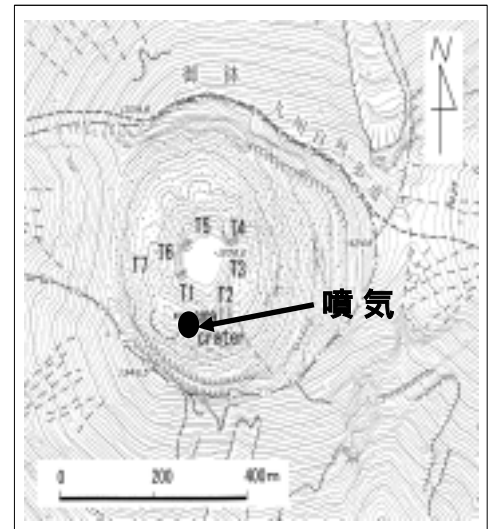
報道発表資料
平成 15 年 12 月 15 日
福岡管区気象台
技術部地震火山課
火山監視・情報センター

霧島山（御鉢）の火山活動について

霧島山の御鉢火口は 13 日から噴気活動が活発になっています。御鉢火口の噴気は 13 日 17 時 20 分には火口縁 200m の高さまで噴き上げました。

本日（15 日）11 時 20 分には継続時間 5 分の火山性微動を観測しました。また、本日（15 日）に鹿児島県の協力を得て行った上空からの観測では少量で白色の噴気が火口縁上 100m の高さには上がっていました。

今後、御鉢では噴気活動が活発化し、小規模な噴火が発生する恐れもありますので十分注意してください。



霧島御鉢噴気（2003 年 12 月 14 日） 鹿児島地方気象台 撮影
噴気はいずれも白色。



新噴気孔の周囲には泥と小石を飛ばした形跡が見られる。



新噴気孔 (T8) を拡大
噴気が数箇所から列状に勢いよく上昇している



新噴気孔 (T8) より噴出した泥 (固結した塊)



新噴気孔（T9）拡大
直径 30cm 程の孔が確認できる。孔の周囲には硫黄
の付着が確認できる。



高千穂河原より御鉢を望む。赤印部に上昇した噴気
（白色）が確認される。

本件の照会先

福岡管区気象台技術部地震火山課火山監視・情報センター

Tel 092-725-3606